

日本初セーフコミュニティ認証都市

国際安全都市 セーフコミュニティかめおか



けがや事故を予防しよう

Vol. 4 8 令和7年12月号

セーフコミュニティとは、「けがや事故は偶然の結果ではなく予防できる」という観点から市民の皆さまと行政機関などが協働して安全・安心に暮らせるまちをつくる取り組みです。

亀岡市では、「スポーツの安全」「自殺対策」「高齢者の安全」「乳幼児の安全」「交通安全」「防犯」「防災」の7つの対策委員会を設置し、安全・安心なまちを目指しています。

第1回国際安全都市アジア市民大会 in 京都・亀岡を開催しました

市制70周年記念事業として、セーフコミュニティを「国際安全都市」とわかりやすく表現し、その活動成果を国内外に広めるため、本年8月2日に「国際安全都市」を冠したアジア市民大会をガレリアかめおかで開催しました。

市民大会には、国内外あわせて、約300人が参加し、韓国・台湾・タイ・中国から14地区、38人が来日しました。

国内では、セーフコミュニティに取り組む大阪府松原市や青森県十和田市、神奈川県厚木市、福岡県久留米市、山梨県都留市から12人のほか、京都府下の17自治体が参加しました。



内閣府 河合宏一審議官による基調講演

メインテーマは「防災から事前予防を考える～オーナーシップ(自分事)として捉える安全対策～」とし、基調講演では、内閣府の河合宏一審議官による事前防災と防災庁設置に向けた講演と、アジアのセーフコミュニティを牽引するチョ・ジュンピル医学博士が、住民の力を引き出す防災等について講演されました。

そのほか、亀岡市、松原市、タイの防災に関する事例発表や、桂川市長と松原市長、海外関係者でのパネルディスカッションを行い、参加者も交えた意見交換を行いました。

海外参加者を交えたパネルディスカッション

会場は満員となり、多くの関係団体や市民にセーフコミュニティの理念と本市を含むアジア各国の取り組みを周知する機会となりました。

午前中は、市民参加型の安全・安心イベントを行いました



亀岡消防署ブース



亀岡警察署ブース



陸上自衛隊ブース



市トイレトレーラー



あいおいニッセイ同和損保(株)ブース



(株)カインズブース



大槻ポンプ工業(株)ブース



明治国際医療大学ブース



防犯対策委員会ブース



交通安全対策委員会ブース



防災対策委員会ブース

大変多くの方に御参加
いただきました！



午前中は、市民参加型の安全・安心イベントとして、亀岡消防署、亀岡警察署、陸上自衛隊、あいおいニッセイ同和損保、(株)カインズ、大槻ポンプ工業(株)、明治国際医療大学、セーフコミュニティ防犯・交通・防災対策委員会の10種のブースを設置。スタンプラリー形式とし、スタンプシールを集めた子どもには、消防車ミニカーを配布しました。

参加者は、パトカーや白バイ、消防車などへの乗車体験や AR(仮想空間)による消火器体験、オリジナル反射材の作成、クイズ形式の防災クエストなど、親子で楽しく体験いただきました。